

# 日本第一の智者となし給へ 宗祖祈誓 虚空蔵菩薩大祭奉行



# 清澄

平成26年9・10月  
合併号

発行所

〒299-5505 千葉県鴨川市

清澄322-1

◎清澄寺

TEL 04(7094) 0525 番

FAX 04(7094) 0527 番

振替 00140-5-55501

印刷所

天津(有)プラザー印刷

送料共1部100円

## お知らせ

10月

27日 14:00 お会式

27日 19:00 信行会(唱題行)

28日 5:40 晓天法要

11月

27日 18:30 信行会(唱題行)

12月

27日 18:30 信行会(唱題行)

31日 19:00 除夜

23:55 除夜の鐘

## 虚空蔵菩薩大祭

日蓮大聖人の御遺文、

『善無畏三藏抄』の中に、

「幼少の時より虚空蔵菩薩に

願を立てて云く

日本第一の智者となし給へ。」

と、宗祖日蓮大聖人が当山でご修行の折、一心に祈願を行つた虚空蔵菩薩の大祭が、9月13日に奉修されました。

午前8時より隨時特別祈

祷が行われ、毎年お参りされる栃木県の無畏講(樋口周二講元)様をはじめ、大

(宗祖がたまわった智慧の宝珠)より五色のお手綱を

勢の参詣者がお参りになられ、終日お経・木劔の妙音が絶えない一日でした。

又、一昨年より、虚空蔵

藏大祭のご聖日に限り、導かせていただいておりま

す。(次頁写真)

# 本院改修報告

(1ページより続く)

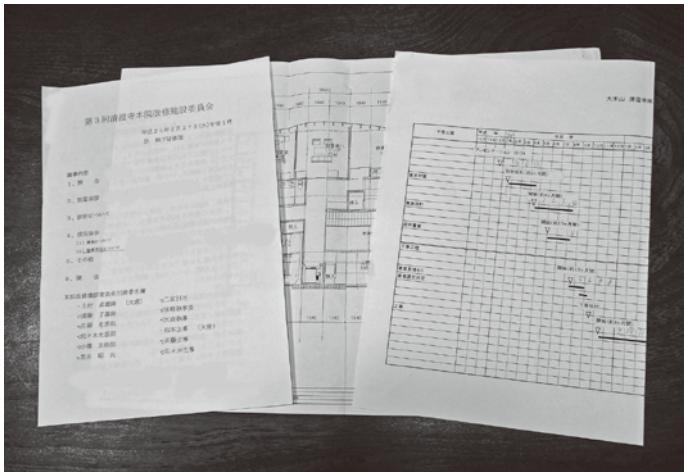
本誌では昨年の3・4月号より本院改修の現状報告をさせていただいております。

役所の指導もあり、今後の建設方針を話し合われました。

日蓮宗無二の管長住職寺ゆえに借入が出来ず、満額そろえての工事発注になります。

今後も益々の皆様のご協力をお願い申し上げます。

第3回目の建設委員会が去る8月27日に研修会館にて行われ、現在の具体的な状況、並に条例等



引き続き宮崎執事長を修法導師に、参列者に対しても、「智恵明瞭・福德増進・家内安全・心願成就」の御加持が修され、全国各地より申し込まれた祈願の奉読が行われました。

本年は土曜日ということもあり、例年より多い参列者の中でも、午後2時より二宮別當を導師に、山務職員出仕にて法要が営まれました。

当山第7代別當塙田日照猊下の代に、立教開宗750年に向けて発足された護山会会員の各家先祖、更には護山会物故者の方々への法要が、この大施餓鬼会の前身でありました。

以来今日まで多くの方々によつて、立教開宗の靈場である清澄寺は維持発展を遂げてまいりました。

私たちが今、この聖地で御題目を唱えられるのも、皆様のお陰であります。



は、自分の家の先祖だけでなく、護山会物故者の方々、更には有縁無縁すべての精霊の供養をいたしました。



# II 大施餓鬼会 II

# 盂蘭盆会

宗祖日蓮大聖人

盂蘭盆御書に曰く

『目連尊者が

法華經を信じまいらせ  
大善は、我が身仏にな  
るのみならず父母仏に  
なりたもう』



す。大事なのは供養とは人と共に養うと書きます。

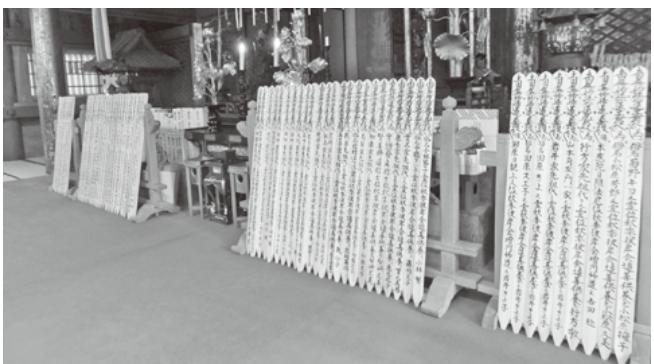
先祖、亡き人への供養を通して、私たちが仏様の御心に叶う心をやしなうことが大事であり、ひいては先

祖への供養につながります。  
参拝者の皆様もこの法要を通して、先祖のつながり、大切さ、感謝の気持ちが養えたと思います。

## 秋季彼岸供養

秋季彼岸の供養が9月20日より26日迄の1週間朝勤にて回向されました。

お彼岸の1週間は、先祖を敬い、亡き人に供養を捧げると共に、自分自身の善



26日の彼岸明けには萬靈塔に立てられ回向されました

任・村井惇匡師を始め教職員7名の指導のもと、19名の主に日蓮宗教師を目指す方々が遠近より集まりました。

5時の起床より、朝勤、

清掃に始まり、日中は講習にて見識、理解、技術を深め、その後夕勤をした後、実習や法座というスケジュールとなります。

また、3日目には当山の朝勤にも参列をされ、4日目には旭が森にて旭日を遙拝しました。

期間中、出身や年齢、性別を問わず、僧侶を志した動機も異なる人々と触れ合う中で、より一層自分自身の信仰心を高めると共に、

法要を行う上で必要なスキルを積み、仏道に精進する大切な日々です。

全国の檀信徒の皆様より申し込まれた沢山の卒塔婆が本堂に立てられ、それぞれ回向がなされました。

法華經を信じ持つことで、自分でなく父母も仏になることができるといふことあります。

孟蘭盆会は先祖をお迎えし感謝の誠を捧げる行事で

## 平成26年度 第2回 僧道林



は、今後の自分の課題や目標を見つける上でも貴重な体験となつたはずです。年4回の入林詳細は、当山でもご説明は出来ますが、手続は所管の宗務所へお願い致します。

8月5日～6日

## 第2回 度牒交付式



平成26年度、第2回度牒交付式が、8月5日から6日にかけて実施されました。

全国各地の寺院から今回77名の度牒生が受付をされ、宗務院の指導により信育道場にて仏前作法ならびに読經テストを受けられました。

翌日は午前4時に起床し、布教隊の先導により旭が森にて旭日遙拝の法要を行ない、午前5時20分より小林順光宗務総長を大導師に、度牒交付式が開催されました。

境内に読經やお題

目の声が響き渡り、77名の度牒生一人一人に小林順光宗務総長より輪袈裟と証書が手渡され、度牒生代表の発音により、全員で仏道修行への邁進を仏祖三宝に誓い終了致しました。

今年も恒例の志學館高等部（木更津市）夏期合宿ゼミが、8月18日から22日までの4泊5日にわたりて開催されました。

清澄寺セミナーハウスと名付けられた研修会館。昨年よりも多い29名の生徒が参加。

来年の大学受験に備え、



朝勤には最終日の22日に参列し、生徒は各自自身の志望校受験合格、学力増進を日蓮聖人も智慧を授かった、虚空藏菩薩様におかりです。

毎年憂うべきニュースばかりですが、たまには憂うべき出来事と言られて、『何があつたか…?』なんて考えなければならない時を過ごしてみたいものです。

被災地区・被災者の皆様には謹んでお見舞い申し上げます。

清澄寺では、皆様の平穏安泰を、日々ご祈念致しております。

到着早々講義受講組、自主學習組と別れて、先生の指導を受けながら勉強をしておりました。

早朝6時30分に起床し朝食を済ませた後、講義等が始まり、夜中12時近くまでそのカリキュラムが続きました。

朝勤には最終日の22日に参列し、生徒は各自自身の志望校受験合格、学力増進を日蓮聖人も智慧を授かった、虚空藏菩薩様におかりです。

しかし、8月の西日本における災害は大変なもので久しぶりに過ごしたような気が致します。

秋彼岸の凌ぎやすい季節を久しぶりに過ごしたような気が致しました。

祈りしつつ心をこめて御焼香をしておりました。

終了後、宮崎執事長より生徒に向け激励の言葉がありました。

今年も志學館高等部  
恒例の夏期合宿ゼミ  
2014 in 清澄

談話室